

## &lt;学校教育目標&gt;

さわやかに、かしこく、たくましく未来を拓く見初っ子の育成

## わたしたちの見初 ～校歌から見えてくるもの～

校長 川本 朋子

1学期が今日で終わります。振り返ってみると、うれしいことがたくさんありました。

一つ目は、皆で力を合わせて様々な教育活動に取り組むことができたこと。今年は、運動会を行うことができ、赤組白組が力いっぱい戦いました。児童の汗が光りました。

二つ目は、ICTを活用しながら、落ち着いて学習できたこと。話し合ったり、説明し合ったりなどの学び合いを通して、分かるようになったことやできるようになったことがたくさんありました。入学してきた1年生の成長にも目を見張るものがありました。

三つ目は、新型コロナに負けない心が育ったこと。休んでいる友達の上に寄り添い、温かな励ましの姿が見られました。

これらの成長を、今後もさらに高めていけるように願っています。

さて、先週のこと。新聞に見初地区の特集が載っていたのをご覧になられた方もいらっしゃると思います。4日間を通しての特集。見初地区の歴史や人々の営みがわかるととても貴重な内容でした。その中に、見初小学校の校歌について取り上げている記事がありました。

本校の校歌は、昭和25年、今から72年前に作られたものです。当時はメロディーが2つあって、その時の児童は2つのメロディーで歌っていたのだそうです。歌詞については、公募の形で選ばれたいくつかを整えて、今の3番までができたとのこと。

72年前というと、ずいぶん昔のように感じられますが、校歌のメロディーも歌詞も、現在の私たちの心に響き、息づいています。本校学校教育目標の目指す児童像では、「さわやかな子」「かしこい子」「たくましい子」が掲げられていますが、その願いは当時作られた歌詞の中に謳われています。

1番「高い望みに手をとりて～」は「かしこい子」を、2番「清い心の育つとき～」は「さわやかな子」を、3番「正しく強く伸びていく～」は「たくましい子」を表していると解釈できます。まさに古くて新しい見初小の校歌です。

この校歌を大事にしながら、いつか地域の方々と一緒に声高らかに歌い、校歌ダンスを踊りたいものと夢見ています。児童にも、いつまでも校歌を誇りに思い、歌い続けてほしいと思います。

明日から夏休みとなりますが、事故やけがの無いように、安全に過ごしてほしいと思います。また、休み中は家庭や地域で過ごすこととなりますが、どうぞ見初の児童を見守っていただくとありがたいです。1学期間、ありがとうございました。

校訓

(昭和5年制定)

進取 勇作  
質実 剛健  
醇風 美俗